

■平成 30 年 6 月

平成 30 年 6 月 1 日～30 日の間、2 名の米政府関係者、4 名の有識者等と面会いたしました。主な面会先及び内容は、以下のとおりです。

(1) シンクタンク研究員との面談 (28 日)

公益財団法人日本国際問題研究所の研究員と面談し、米政府の動向及び沖縄の状況について情報交換を行いました。

(2) 新外交イニシアティブ事務局長との面談 (28 日)

新外交イニシアティブ事務局長と面談し、沖縄の米軍基地問題について意見交換を行いました。

(3) 国防総省担当者との面談 (25 日)

国防総省担当者と面談し、F-15 戦闘機の墜落について、県議会、嘉手納町との面談に応じていないこと等、地元への説明が十分でないことを伝えるとともに、流弾の事案について、県当局の調査に協力して欲しい旨を伝えました。

また、緊急着陸した CH53 のパイロットについて、安全に着陸させたとして評価するラダー海兵隊中将の上院公聴会での発言は、事態を過小評価すると共に沖縄の状況を理解していないものと沖縄県民は捉える、と伝えました。

(4) 国務省副日本部長との面談 (15 日)

国務省東アジア・太平洋局副日本部長と面談し、F-15 戦闘機の墜落について、今回の事故が沖縄県民に大きな不安を与えていることを伝えるとともに、特に、米側と沖縄側が直接話し合える仕組みが必要であることを強調して説明し、事故原因究明と速やかな公表、再発防止策の実施等について理解と協力を求めました。

(5) ハリー・ハリス氏に係る上院外交委員会指名公聴会の傍聴 (14 日)

トランプ大統領から駐韓米国特命全権大使に指名されているハリー・ハリス氏（前太平洋軍司令官、太平洋軍の現在の名称はインド太平洋軍）他に係る上院外交委員会の指名公聴会を傍聴しました。米朝首脳会談に関する質疑が多くありました。

(6) CSIS（戦略国際問題研究所）副部長等との面談 (11 日)

CSIS（戦略国際問題研究所）の副部長等と面談し、沖縄の状況について伝えるとともに、米朝首脳会談を中心に意見交換を行いました。

■平成 30 年 5 月

平成 30 年 5 月 1 日～31 日の間、2 名の連邦議会関係者、1 名の米政府関係者、5 名の有識者等と面会いたしました。主な面会先及び内容は、以下のとおりです。

(1) バーバラ・カムストック下院議員補佐官との面談（17 日）

バーバラ・カムストック下院議員の補佐官と面談し、ワシントン事務所の活動内容の紹介、沖縄の米軍基地問題について意見交換を行いました。

(2) フェインステイン上院議員居室の訪問（10 日）

フェインステイン上院議員居室を訪問し、補佐官との面談について調整。

(3) アミ・ベラ下院議員補佐官との面談（10 日）

アミ・ベラ下院議員の補佐官と面談し、沖縄の米軍基地問題について意見交換を行いました。

「普天間代替移設に係る合意は 20 年前のものであり、その中身を見直す時期にあると考えている。そうでなければお互いの利益が失われかねない。米軍の安定的な駐留の維持のためにも見直しを考えなければいけない。日米関係の向上のためにも沖縄の問題の解決を求めている。今後とも継続して意見交換したい」旨を伝えました。

(4) 国防総省担当者との面談（10 日）

国防総省担当者との面談し、ネラー総司令官の発言について歴史認識として不正確であることを説明し、今回のような発言をすべきでない旨、伝えるとともに、正確な歴史的経緯の認識については、米軍の研修資料について過去に米側と協議し事実関係を整理したことを伝えました。

先方からは、正確でないということであれば、県の考えは理解できるので、その考えを内部で共有したいとの回答がありました。

■平成 30 年 4 月

平成 30 年 4 月 1 日～30 日の間、4 名の米政府関係者、2 名の米政府関係者と面会いたしました。主な面会先及び内容は、以下のとおりです。

(1) 国務省職員との面談（27 日）

3 月に DC で開催した県主催シンポジウムに参加した国務省の職員と面談し、同シンポジウム及び沖縄の米軍基地問題等について意見交換を行いました。

(2) 国務省外交分析官との面談 (25 日)

国務省分析官と面談し、3月にDCで開催した県主催シンポジウム、沖縄の米軍基地問題、及び米政府の状況等について意見交換を行いました。

(3) 上院軍事委員会公聴会の情報収集 (24 日)

米海軍及び米海兵隊に係る 2019 年度予算要求及び予算の正当性を精査するための上院歳出委員会公聴会について情報収集しました。

ブライアン・シャーツ上院議員（民主・ハワイ州選出）とロバート B. ネラー海兵隊総司令官の間で、海兵隊のグアム移転に関する質疑がありました。

(4) 議員補佐官との面談 (20 日)

3月にDCで開催した県主催シンポジウムに参加したトゥルシー・ガバード下院議員の補佐官と面談し、同シンポジウム及び沖縄の基地問題について意見交換するとともに、今後とも対話を続けることを確認しました。

(5) 上院軍事委員会公聴会の傍聴 (19 日)

2019 年度国防授権要求及び将来の国防プログラムについて精査するにあたり、海軍省の態勢に関する証言を得るための上院軍事委員会公聴会を傍聴しました。

ティム・ケイン上院議員（民主・バージニア州選出）とロバート B. ネラー海兵隊総司令官の間で、海兵隊の即応態勢に関する質疑がありました。

(6) ポンペオ氏に係る上院外交委員会の傍聴 (12 日)

トランプ大統領から国務長官に指名されているマイク・ポンペオ氏（中央情報局《CIA》長官）に係る上院外交委員会の指名公聴会を傍聴しました。

(7) 連邦議会調査局との面談 (3 日)

連邦議会調査局の専門官2名と面談し、3月13日にDCで開催した県主催のシンポジウムの概要等を説明するとともに、沖縄の状況等について引き続き情報提供を行うこととしました。